

令和5年度  
第1回苫小牧市福祉のまちづくり推進会議 議事録

■ 日 時：令和6年1月25日（木） 14時00分から14時30分まで

■ 場 所：苫小牧市福祉ふれあいセンター 1階研修室

■ 出席者：14名

<委員>

佐々木 彩（議長）

井上 あゆみ 井村 友美 小林 裕子 江尾 清 千寺丸 洋

本間 貞樹 山本 茂夫（敬称略）

<事務局>

白川福祉部長 上川福祉部次長 寺西障がい福祉課長 大黒課長補佐

渡辺主査 赤塚主任主事

■ 欠席者：5名

<委員>

井上 啓一 竹本 幸史 星 道博 松原 敏行 横山 武三

■ 次 第

1 閉 会

2 議 事

（1）今年度の事業報告について

（2）苫小牧市福祉のまちづくり表彰について

（3）その他

3 閉 会

■ 議事要旨等：次項以降

## 【議事要旨】

説明事項（説明者：事務局 渡辺）

- (1)今年度の事業報告について
- (2)苫小牧市福祉のまちづくり表彰について
- (3)その他

～資料に基づき説明～

## 【質疑要旨】

議事(1) 今年度の事業報告について

江尾委員： トイレカーは1回出動すると何人分使えますか。また、大きな地震が最近あり、他の市町村ではトイレカーを出動させたと聞いていますが、苫小牧市はどう考えているか2点お聞きします。

事務局： 1つ目のご質問ですが、トイレカーはおがくずを利用するバイオトイレとなっており、そのおがくずを交換するまでという回数としては、約100回程度です。それ以上となれば、水分を多く含み、微生物での分解が難しくなってしまう、臭いが出てきます。2つ目のご質問ですが、苫小牧市のトイレカーは水洗トイレではないため、手入れが難しい部分があります。また、冬場はおがくずが凍ってしまうため、ヒーターが内蔵されていますが、そのヒーターを動かすために電気やガソリンが必要になってくるため、すぐにトイレカーが自立して利用できる訳ではなく、使い方を教えたり、職員を配置したりといったことから、出動までは至っていないところでございます。

千寺丸副議長： 意見としてですが、職員の中に耳が聞こえない人がいまして、コンビニとかでも言わなくても見せれば、周りの人に状況を伝えられるような物を作ってほしいと言われて作りました。助けられる側はヘルプマークがありますが、助ける側にもこんな事できますよ。というような大きめの物やバッジなどを考えていただけたらなと職場の中で話が出ていたので、お伝えさせていただきました。また、いろんな学校と活動をしているため、その中であいサポート運動についても広めさせていただきたいと思います。

事務局： ご意見いただきありがとうございます。あいサポート運動についても小学生を対象とした、あいサポートキッズを今年も力を入れて取り組みたいと思います。その研修を受けた後にゴム製の大きめのあいサポバッジを配布しています。また、バッジを見ただけでわかりやすいかという部分の工夫については、鳥取県の取り組みを参考にしながら考えていく必要があると思います。

## 議事(2) 苫小牧市福祉のまちづくり表彰について

千寺丸副議長： 苫小牧市介護者を支える会を推薦させていただきましたが、実は何件か出させていただきましたが、子ども食堂については該当外となりました。以前にもそういった事があったとお聞きしましたが、いまの子ども食堂と過去の子ども食堂の内容は変わってきて、誰でもオープンに受け入れて、さらに深く関わっているような団体は表彰に値するのではないかと思います。もう一つですが、高校生のボランティア活動も盛んになっており、東高校のホッケー部さんや野球部さん、新たな団体を作っている高校生など、生徒の入れ替わりがあることも考慮しつつ、苫小牧の未来を担う人達に、何らかの表彰対象とできる仕組みがあればよいと思います。

佐々木議長： 表彰の仕方についてはまだ考える余地があるかと思います。

## 議事(3) その他

千寺丸副議長： 災害が今起きている中で、避難所について障害を持った方々が大変苦労しているという現状を聞きました。そういった方々の支援を苫小牧市として早期に対応できるようにしていただければと思います。いろんな町内会でも災害に対する考え方が変わってきているので、いい機会かと思っておりますので、是非とも進めていただければと思います。また、身障者用トイレの活用については、町内会館も新しくなって整備されている箇所があるので、災害時でも活用できると思います。

江尾委員： 一時避難所にいろいろな人が集まっていますが、障がい者はトイレに一番困ってしまいます。目が見えないとトイレまで1日6回7回案内してもらえないといけないですが、みんな大変な状態では案内してもらえない。石川県では、妊産婦や高齢者や障がい者は2次避難所として、電気ガス水道がすべて通っている離れた場所に作っています。苫小牧市にも福祉避難所がありますが、大規模な地震が来ると耐えられないため、どの地域に運ぶというようなことも考えていただきたいです。

事務局： 今いただいたお話については、いま具体的にお答えできるものは持ち合わせていませんが、防災担当部署にご意見を共有させていただきます。

その他の事項についても質疑がなく、会議終了